

おほとものすくねするがまる
大伴宿禰駿河麻呂の歌一首

一四三八番

かすみた
霞立つ かつが さと
春日の里の うめ
梅の花 はな
花に問はむと
我わ
おも
が思はなくに

なかとみのあそみむらじ
中臣朝臣武良自の歌一首

一四三九番

とき いま はる
時は今 春になりぬと み雪降る
ゆきふ
遠き山辺に
とほ やまへ
かすみ
霞たなびく

かはへのあそみあづまと
河辺朝臣東人の歌一首

一四四〇番

はるさめ
春雨の しくしく降るに たかまと
高円の やま
山の桜は い
かにかあるらむ